

2024年11月13日(水) 第7限

1年キャリア教育特別講座

『ミライの選択～文理選択&科目選択～』

河合塾 中部営業部 担当部長 西山直志氏

総合的な探究の時間を用いて、今年度二度目のキャリア教育特別講座を実施しました。文理選択を終えた生徒たちが次にしなければならない選択とその選択方法について学びました。



【今後の選択への助言】

「苦手科目」から考えないこと!

…進路選択の幅が狭くなる

【生徒へ投げかけられた質問】

(1)現在のあなたの志望校はどこですか?

(2)その大学でどんなことをしたいですか?

現在大学入試では、出願時に志望理由書の提出を求める大学が増えつつあります。大学で何をしたいのか、真剣な表情で考える姿が見られました。

大学進学に向けて生徒たちが選択しなければならないことは、学びたい学問や志望大学、受験方法など多岐に渡ります。早めに学部、大学研究を進めることで、受験を意識した学習につなげることができます。焦る必要はありませんが、日頃からアンテナを張り、自分の適性を考え、近いミライに後悔しない選択ができることを望みます。

講演後の生徒の感想

- ・大学が同じでも学科によって入試方法や必要教科が違うことが分かった。今のうちから大学や入試科目を調べることが、その教科のモチベーションにもなり、集中力が上がるので調べてみようと思った。
- ・私は興味がある学科はあるけれど、それを知るために積極的な行動はしていなかった。オープンキャンパスやその学科に関係するイベントに参加するなど、自分の本当の行きたい道を見つけるために、とにかく行動を起こしてみたいと思った。
- ・文理選択や科目選択で、行ける大学が絞られるということが分かり、行きたい大学を早めに考えておこうと思った。
- ・もう一度総合評価法をやってみて、だいぶ自分の行きたい学部が絞られてきていると分かった。もう少しで文理を決定するので、それまでに真剣に考えていきたい。
- ・将来何をしたいかをあらかじめ決めたとうえで、行きたい大学を決めるという逆算して自分が今何をすべきかを考えることが大切だということが分かりました。

ご講演くださりました西山様 本当にありがとうございました。